

令和7年度 第3期倉敷市自殺対策基本計画審議会(第3回) 会議録

開催日時	令和7年11月26日(水) 午後2時00分から午後2時50分
開催場所	倉敷市役所 502会議室
出席者	○委員(13名) 伊木勝道委員、浮田佳孝委員、高瀬真知委員、富田早苗委員、 原幸徳委員、福岡敏雄委員、福本健委員、藤本洋子委員 堀内顕委員、松成康昭委員、保田智代美委員、山田雅子委員、 山本順子委員、 ※欠席委員(2名) 佐賀雅宏委員、吉峯清美委員 ○事務局(8名) 種本保健所長、西川参事、小原課長、杉本係長、中村主幹、 亀山主任、田内主任、安田保健師
傍聴者の数	0人
報道機関	0社
次第	1 開 会 2 挨 拶 3 議 事 (1) パブリックコメントの結果報告について (2) 第3期倉敷市自殺対策基本計画(素案)の修正について (3) 令和6年度の倉敷市における自殺の現状について (4) その他 4 閉会

1 開会

事務局

失礼いたします。それでは定刻がまいりましたので始めさせていただきます。本日は皆様方にはお忙しいところ御出席いただきまして、誠にありがとうございます。司会進行を務めさせていただきます、倉敷市保健所保健課の杉本でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の出席委員は13名で、お手元にお配りしております参考資料2、倉敷市自殺対策基本計画審議会条例第5条第2項の規定によりまして、会議が成立しますことを、まずご報告申し上げます。

また本審議会は公開となっておりますが、傍聴の方、報道機関の方はおられません。

2 挨拶

事務局

それでは、第3期倉敷市自殺対策基本計画審議会の開会にあたりまして、倉敷市保健所長 種本より御挨拶を申し上げます。

＝開会挨拶＝

事務局

それでは、審議に入らせていただきます前に、本日の資料の確認をさせていただきます。お手元の資料をご確認ください。

＝配布資料確認＝

まず、会議次第、資料1～4、参考資料1～3、以上となりますが不足はございませんか。

事前にお送りしております素案が、本日の資料3になっておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局

それでは開会にあたりまして、会長から御挨拶をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

会長

本日もお忙しい中、皆様お集りいただきありがとうございます。完成に向けて、皆様のご活発な意見を頂きたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局

ここからは、会長に審議を進めていただきます。ではよろしくお願いいたします。

会長

それでは、開会の挨拶でも触れられましたが、本日は審議会の最終回ということで、計画の完成を目指して審議を進めて参りますので、皆様ご協力をよろしくお願いいたします。

いたします。

3 議事

(1) パブリックコメントの結果報告について

会長 まず議題1、パブリックコメントの結果報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局 お手元の資料1を御覧ください。パブリックコメントを9月25日～10月24日の1か月間で実施したところ、1名の方から4件の御意見をいただきましたが、パブリックコメントをふまえて、計画書の変更は行っておりません。御意見とそれに対する市の考え方につきましては、2ページ～4ページにまとめておりますので、後ほど御覧いただければと思います。パブリックコメントの結果については、近日中に、市ホームページ上で公表する予定です。

会長 ありがとうございました。ではただいまの説明について御意見等ございますでしょうか。

副会長 パブリックコメントの1人というのは余りにも少なすぎるように思いますが、実際見られた方はもっと多いのでしょうか。

事務局 実際に何人見てくださったかは、はっきりカウントはできていないですが、ネット上で公表したことと、船穂、庄、茶屋町を含む各支所、保健所の窓口に置かせていただきました。保健所では一時素案がなくなっており、どなたかが持ち帰りになられたと思うのですが、目を通してくださった方はいらっしゃるのかなと思っています。今回メールで1人の方から、内容的には4件の御意見をいただいたという形です。

会長 多くの方が目に触れてくださってはいらっしゃるようでした。その他御意見よろしいでしょうか。ありがとうございました。

(2) 第3期倉敷自殺対策基本計画（素案）の修正について

会長 続きまして、議題の2 第3期倉敷対策基本計画素案の修正につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 資料2をご覧ください。こちらは前回審議会委員の皆様からいただきました御意見と、回答をまとめたものになります。また資料3は、前回審議会に出た意見をふまえて修正し、新たに作成した素案となっております。ここからの説明では、本日お配りした資料2と3をご覧ください。

まず、資料2の1について、労働問題は多種多様なものがあり、失業だけではなく、ハラスメントや長時間労働も非常に多いことから、資料3の36ページのウの部分の「失業者等」という部分をもう少し充実してもらえるとありがたい、といった御意見がありました。お配りしております資料3の37ページをご覧ください。この部分の項目について、「イ 長時間労働の是正」「ウ ハラスメント防止対策」を改めて項目に明記し、それぞれの項目について各課が実施している取組が分かりやすくなるようにしました。また「失業者等」としていた部分については「エ 勤労者・失業者等」と表現を変え、失業者だけではなく、現在勤務している人も対象となる表現にしました。また、前回いただいた御意見のほかに、事務局で検討し、大きく変更した箇所といたしまして、25ページをご覧ください。前回お示しした素案では、施策の体系は文章のみでお示ししておりましたが、24ページの基本方針と27ページ以降の基本施策、重点施策との関係性がわかりにくいように思いましたので、あらたに体系図を入れさせていただきました。

会長 ありがとうございました。ただいまの説明について、御意見等ございませんでしょうか。

委員 新たに体系図が入ったことにより、繋がりがわかりやすくなって、読みやすくなったと思います。

会長 ありがとうございました。その他、よろしいでしょうか。計画につきましては、本日が最後となりますので、是非お気づきのこと等ありましたら、ご発言いただければと思います。

副会長 また別の箇所なのですが、15ページのゲートキーパー養成研修実施状況という文章の上から2行目で、『10～30歳代は自殺で亡くなる人が多いため・・・』とありますが、自殺で亡くなる人が一番多いのは60代の人。10～30歳代は自殺で亡くなる人の割合が多いということですよね。10ページの年代別死亡原因を見て、「自殺で亡くなる人の割合が多いため」というふうにしたらどうかなと思います。この文章だけ見ると、30歳代の人が多いのかなと思いますが、実際多いのは中高年の男性ですので、その辺のところが、文章的に誤解を生まないかなと思いました。

事務局 ありがとうございました。ではこちらの部分は、自殺で亡くなる人の割合が多いということで、修正をさせていただきます。

会長 ありがとうございます。10ページに記載してございますのは、年代別死亡原因と書いてございますので、そのあたりが理解しやすいようにということで、割合という言葉を付け加えていただくことになりました。

ありがとうございました。その他、御意見いかがでしょうか。

(3) 令和6年度の倉敷市における自殺の現状について

会長 続きまして、議題の3、令和6年の倉敷市における自殺の現状について、事務局から報告をお願いいたします。

事務局 資料4をご覧ください、倉敷市における自殺の現状について、令和6年の統計が公開されましたので報告いたします。①は自殺者数・男女別自殺者数の推移でございます。令和6年の自殺者は58人で、前年に比べて2人減少しました。男女別に見ると約64%が男性で、約36%が女性となっております。②は自殺死亡率の推移でございます。自殺死亡率は全国や県と比べて低くなっており、12.5となっております。①と②のグラフにつきましては、令和6年の厚生労働省人口動態統計に基づいて作成しております。③の各年代の自殺者数では、令和6年は40歳代が最も多く、次いで70歳代、30歳代、50歳代となっております。④の職業別自殺者数は、「有職者」が最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」の順となっております。⑤の原因・動機別自殺者数では、令和6年は、不詳をのぞきますと「健康問題」が最も多く、次いで「家庭問題」「経済・生活問題」「勤務問題」が同数となっております。⑥の自殺未遂の既往の有無でお示ししておりますが、自殺者のうち、自殺未遂の既往がある人は全体の20.6%、既往がない人は全体の65.1%を占めておりました。なお、③～⑥のグラフにつきましては、厚生労働省が警察庁から提供を受けたデータを再集計した資料に基づき作成しております。

第3期計画書では令和5年を基準値としているため、令和6年の統計については掲載いたしません。これらはホームページに掲載するとともに、庁内外の関係機関が集まる自殺対策ネットワーク会議でも提示し、今後の自殺対策の取組を実施する上で、参考にしていく予定です。

会長 ありがとうございました。ただいまの事務局からの報告で、ご質問や御意見はございますでしょうか。

令和5年より2人減少したということと、40歳代そして70歳代が、令和6年については多かったというご報告でした。

委員 男女別の統計になってないので、女性が令和5年の倍になっているところは気にはなっていて、最近女性の自殺が増えているのが問題になっているので、職業や原因がわかるとデータとしてはよいかと思います。

事務局 データとして今お示しできるものはこちらになりますが、分析は可能だと思います。確かに前年から10人増えているということ、全国的にも女性の自殺が問題になっているので、男女別で分析をしていく視点が大事なかなと思います。

会長 ありがとうございます。私も先ほどの性別は気になっておりました。ゲートキーパーの養成も、より焦点を絞っての対策ができるかと思いますので、よろしくお願いいたします。

その他、皆様からの御意見はよろしいでしょうか。

特にないようですので、まことに早いのですが、以上で本日予定しておりました議事はすべて終わりました。円滑な議事進行にご協力いただきまして、無事計画案をまとめることができました。

会長 皆様とこのような形でお話できるのも、本日で最後になりますので、皆様から一言ずつ、この3回の審議会を通して気づかれたところや、感じられたこと、何でも結構です。お願いできますでしょうか。それでは、よろしくお願いします。

委員 3年ぐらい前から自殺未遂者支援事業評価会議の委員をさせてもらい、そこから自殺対策に関わる機会が増え、今回こういった場に参加させていただいて勉強になったし、経験もさせてもらったと思います。色々な職種の方が話をして、1つの計画をまとめ上げるというところに参加させていただいて大変ありがたかったです。ありがとうございました。

委員 1回目から2回目、2回目から3回目と、この資料の中身もどんどんブラッシュアップされていて、データもより具体的になり、目標を持ってできるようにという形になり、良い形で審議できて、それが計画に反映されているというところがよかったなと思っています。私は、普段は診療所での診療がメインなので、見えている範囲が狭くなってしまうがちですが、こういうふうな会議に参加させてもらって、少し引いたところから全体を大きくみることができるというところで勉強になった。どうもありがとうございました。

委員 この会議に参加させていただいて、意見を柔軟に反映していただいた部分もあり、私としてもすごく光栄だなと思っています。普段仕事をさせていただいている中で、様々なトラブルとか困り事を抱えている相談者や依頼者と向き合ってきているところですが、今回の倉敷市の現状で報告いただいたような中でも、やはり経済生活問題だとか、勤務問題、防災問題、学校問題等、いろいろ仕事をしている分野で、こういったところの相談も多いものですから、1つ1つの問題に当たる中で、ゲートキーパーとして、困った人の声をよく聞いて、その問題を1つでも多く解決していくことが、全体として自殺対策に繋がっているということを再認識させていただきました。日々研鑽を積み、また次回の会議に私が参加できれば、光栄なことだと思っております。どうぞよろしくお願いします。ありがとうございました。

委員

病院の理念に基づいて、コミュニティを大切に進んでまいりましたが、こういう形で市のいろいろな会議に参加できるようになってきたのも、我々の病院が地域のお役に立てているということだと思いますし、ここで決まったことを病院に持ち帰って会議等で他の職種にも共有することが継承されてきていることを心強く思っています。良い形で、このような取り組みが進んでいって、生きようと思って地域の中で働いたり学んだりしている人たちが、こういう形で失われることはなるべく避けたいという、我々の基本的な気持ちを形にして、その形がちゃんと結果として出されたかどうかを、データで振り返るという作業は、時に辛いこともあるのですけれども、非常に価値の高い事業だと思いますので、ぜひ引き継いでいってもらえたらと思って参加して参りました。ぜひ引き続きよろしくお願いいたします。

委員

何気なく行っている日々の業務が、こういったところに繋がっているところや、自分の勉強不足を少し感じるところもありましたけれども、そういった取り組みが自殺予防にも繋がっているという、ネットワークを勉強させていただきました。ありがとうございました。

委員

日々、子どもたちと向き合いながら、本当に毎日毎日バタバタしながら生活しているというのが実際のところですよ。生徒の命を預かっているということと、それから生徒を取り囲む保護者の方、家族の方、地域の方のいろいろな思いを一生懸命考えながら対応しているというのが今の気持ちです。

こういう会議に参加させていただくことで、いろいろな角度で子どもたちの命、人の命を見守るということが、今回参加させていただいたことで、よくわかったかなと思います。今まで考えてなかったような視点で、子どもたちをまたサポートしていきたいなというふうに、責任を重く感じました。本当にありがとうございました。

委員

私はこういった、審議会の委員というのが初めてで、各方面のプロの方の御意見も、とても勉強になりました。また、今後行政としてどのように自殺問題に関わっていけるのかということを考えることができ、本当によかったと思っています。どうもありがとうございました。

委員

有識者の皆様の貴重な御意見を本当に聞く機会になったなというふうに感じています。議会としても、ゲートキーパーの育成普及について、行政としっかり連携しながら、誰もが安心して住み続けられる倉敷市を目指して引き続き頑張りたいと思います。ご指導よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

委員

普段は小さな会社、企業内のコミュニティというところで、社員だけを見て生活しているわけですが、こういう審議会に参加させていただくことで、視野が広がったというか、こういう視点もあるのだなとか、そういう視点もあったのだなといったところ

が、とても学びになったなというふうに思っております。これから、所属するコミュニティの中でも、ぜひ生かしていけたらなと思っております。そして貴重な意見が盛り込まれた対策であると私自身思っておりますので、一人でも自殺を踏みとどまれるようになったらいいなと心より祈っております。

委員

民生委員として、長く活動をしているだけで、あまりお力にはなれないのではないかなと思うのですが、また、これから高齢者の方、児童の方など、皆さんの身近な相談役、つなぎ役として民生委員活動を頑張っていきたいと思います。そして自殺者のない世の中になって欲しいと願っています。ありがとうございました。

委員

感想を言う前にちょっと一つお願いがありまして。資料の2.9ページの市民一人ひとりの気づきと見守りを促すという項目のところで、担当課・関係機関というのがあるのですが、私は心ほっとサポーターをしておりますので、ここに心ほっとサポーターを入れて欲しいなと思うのです。なぜなら、認知度が低いと言いながらこういうところに全然出てこないのです。文章の一文には出てくるのですが、ぱっと一目見て、こういう活動されている人もおられるのだなというのをに入れて欲しいと思います。よろしくお願いします。

私の感想ですが、西日本の洪水で言えば私の家が4メートル70までつかりまして、自分たちが一から築き上げたものが、リフォームをして8年目に全部なくなりました。その中で、もう暗闇の中ベランダの上で親子3人座って「助けてくれ、助けてくれ」って。誰も届かないだろうなっていうような状態で叫んでおりました。夜があけるにつれて、隣近所の顔が見えたり「〇〇さんいるの?」「いるよ、頑張ろうね、もうちょっと頑張ろうね。」と言いながらお互いの隣近所のコミュニティの中で、小さい時から知っている子とかも、みんな励まし合って、お昼前ぐらいまでいました。それでそういうことをどうしてこんなところで話すのかと思われると思うのですが、私はどうしてもそこが拭い切れないのです。もう本当に死と背中合わせで一昼夜過ごしてきましたから、自殺予防、ゲートキーパーという立場でやっていますが、本当に死にたくて死ぬ人はいないんだということを本当に思うんですね。「助けてくれ助けてくれ。」とおっしゃっているところに、私たちの目が届かない、声が聞こえてない、それは本当に亡くなっていく人たちは無念だろうなと。私はおかげさまで助けていただいて、今こうやって生きていけているんですけど、本当にゲートキーパーっていう役割の重さを、水害だけではなくて日々の中で、それを基盤に進めています。また、人間ってあさましいものですから、助けて欲しいっていう段階では、みんな協力していこうねって手を取り合って声かけ合っていくんですけど、水害から7年経つと段々に自我がでてくるのです。本当に人間って、わがままな生き物だになってつくづくは思うのですが、自分も含めて。だから、本当にこれからが正念場で幾つものコミュニティを作って、お互いがいろいろな立場の中で、助け合って話し合って絡み合っってって、地域を盛り立てていかなきゃいけないときが来たんだなっていうのを感じ

じてます。

会長 御意見ありがとうございます。

事務局 御意見ありがとうございます。
第3期計画の中ではコラムといった形で、心ほっとサポーターの活動を載せさせていただけたらと考えています。

副会長 皆様ご協力のほどどうもありがとうございました。
本会議に関しては、僕自身も非常に勉強になりましたし、たくさん勉強させていただきました。何よりも、やはり皆さんの顔を見ながら、こうやってお話をできるというのが一番の収穫であったと思いますし、そういったことをこれからも続けていただいて、倉敷で自殺者をゼロにするというのを目標に、頑張っていきたいと思います。また今後ともご縁がありましたら会のことを思い出して、頑張っていきたいなと思いますので、ご協力のほどをお願いいたします。どうもありがとうございました。

会長 私も審議会というのは初めてで、しかも会長ということで、本当に皆様には、ご負担をおかけしてしまったのではないかと少し反省はしているんですけども。それでも皆さんのいろんな貴重な意見がしっかり反映された計画になったのではないかなというふうに思いました。前回の審議会のときに、いろんな課の方の取り組みを聞かせていただきました。私はそこで一番感銘を受けましたのは、やっぱり小学校中学校の取り組みでした。この取り組みが高校とか大学といったところで、もう少し広がっていったらいいなというふうに思いました。大学は本当に新しい環境の場での生活が始まりますし、高校も親元を離れて生活する高校生もたくさんいるかなと思います。ぜひこういうところもまた考えて、自分自身が大学に勤めているので、小中学校のいろんな取り組みを少し参考にしながら、市の保健師さんとかいろいろな方と協力しながらやっていけたらいいなというふうに思いました。
この3回にわたりまして倉敷市の事務局の方には本当にお忙しい中、資料をいつも整えていただいて、会議の日程も調整していただいて、本当にお世話になりました。ありがとうございました。この場をお借りして、御礼を申し上げたいと思います。皆様も本当にお忙しい中、お集まりいただきまして本当にありがとうございました。皆様のお話を伺ったんですけども、本日ご欠席の委員さんからもコメントを寄せていただいているようですので、事務局からご紹介をよろしくお願いします。

委員（代読） 第1回の審議会において、相談窓口カードが目につきにくいということや、10代の自殺者が年々増加しているとの話を聞かせていただきました。また、自殺した子どもの遺書についてお聴きし、とても心が痛み、皆さんの尊い命を救いたい、救うことができないかと考えました。

みなさんに広く伝えるには、「相談窓口があるよ」「悩みを持っている人はぜひ連絡をしてほしい」との思いでチラシを作成し、水島地区の取組として11学区の学区単位で全戸回覧を夏休み明けの9月頭から実施しました。また10月の健康まつりにおいて、がん検診等の普及啓発に加え、チラシの配布を行いました。今後、3月にも、年1回開催している思春期の子どもさんを持つ保護者を対象としている講演会を「もっと子どもたちに関心を持ってほしい」「様子の変化に気づいてほしい」という思いで実施し、お話をしたいと思っております。自殺者が1人でも少なくなるよう祈りながら、この活動を続けていきたいと思っております。

委員（代読） 会議に参加させていただくなかで、自殺対策について委員のみなさんが日頃から取り組まれている様々な活動を知ることができ、また、自殺する人を少しでも減らしたいという強い思いを感じることができ、委員の一人として自分の組織に戻って何ができるかを改めて考えさせられる機会となりました。

社会福祉協議会は、地域福祉を推進することを目的とした団体として、地域住民と一緒に孤立防止や支え合い活動に取り組んでいます。自殺に至るまでには様々な要因があると思いますが、地域のなかで取り組める活動もたくさんあると思います。自殺を他人事ではなく身近な問題として捉え、少しでも近所や地域の人に気を配ってくれる人を地域のなかで増やしていく取り組みを進めていけたらと考えています。また、自分自身も身近な職場のなかで、気持ちがしんどくなっている職員はいないか、孤立している職員はいないかという視点で周りを見渡し、声掛けや気配り、ちょっとした変化に気づける職員になれるように意識していきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

会長 ありがとうございました。それでは、事務局へお返しをいたします。

4 閉会

事務局 ありがとうございました。

皆様には、3回にわたり御協議いただき、まことにありがとうございました。

本日の結果をもとに、答申に向けて計画案をまとめさせていただきます。計画案の追加、修正、及び答申の文章表現については、会長、副会長に御一任いただきますようお願いいたします。なお答申は、日程を現在調整中ですが、年明けに会長、副会長から行っていただく予定です。それでは閉会にあたりまして、倉敷市保健所参事、西川より御挨拶を申し上げます。

＝閉会挨拶＝

事務局

これもちまして、第3回倉敷市自殺対策基本計画審議会を閉会いたします。長時

間どうもありがとうございました。

＝閉会・委員退席＝

会議録の内容に相違ないことを確認しました。

令和 7 年 12 月 17 日

倉敷市自殺対策基本計画審議会 会長 富田 早苗

